



一日一感謝

校長 澤井 英子

暖かな陽射しに、春の訪れを感じます。玄関には、すてきなひな人形が飾られました。子供たちの健やかな成長を祈る気持ちは、昔も今も変わりません。

【皆様に助けられて】

この一年、大勢の皆様が助けられました。毎日の保護者全員による朝・夕の防犯パトロールや、地域の皆様のパトロールのおかげで、子供たちが安心して過ごせます。

練馬区の安全・安心情報メールでは、毎日のように不審者情報が流れていますが、ゼッケンをつけた方々が地域を回ってくださることが、不審者を寄せ付けない地域にしているのだと思います。雨の日も、暑い日も、寒い日も、皆様の子供たちの安全を支えてくださっていることに感謝申し上げます。

また、受付の安全安心ボランティアには、現在60名程の皆様が登録してくださいました。おかげで、午前中だけでなく、午後の時間帯も受付をお願いできるようになり、大変有り難いことです。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

【温かな関わり】

ゲストティーチャーとして、たくさんの方々に、教えていただきました。毎年の先生方に加え、新たに教えていただいた方々をご紹介します。

1年生：城北公園自然観察四季の会の皆さん
(ドングリ拾い)

地域のお年寄り(昔遊びの体験)

3年生：「ファーム渡戸」の渡戸明さん(沢庵漬)

5年生：アニメ作家 遊佐さん・平松さん(練馬区アニメ産業と教育の連携事業)

それぞれ専門的な知識・技術を教えていただくだけでなく、体験の楽しい時間を通して、地域の方々の温かな心を知り、子供たちにとって、素敵なふれあいの機会になりました。

【校内と校外】

『聞き方名人』が様々な場面で定着してきたことが分かります。学校外での活動では、よその方々から褒めていただきました。

社会科見学で行った5年生：軍道和紙の紙すき工房、6年生：江戸東京博物館、4年生：東京湾処分場、3年生：ふるさと文化館、どの先生方も口をそろえて、「よく勉強する子供たちですね」と言ってくださいます。校内にしていると当たり前と思うことも、校外の方からみると素敵なことがあるのだと、改めて感じました。

逆に、校内では「挨拶がずいぶん上手になってきた」と、週番の記録には度々出てくるのですが、地域の中では、「挨拶が上手にできない」とか、「交通ルールが守れていない」といったお叱りを受けることがあります。

校内では、折に触れ様々な機会を捉えて指導していますが、下校後の子供たちの様子については、把握できないこともあります。

ご家庭ではいかがでしょう。「大人が毎朝挨拶をする家庭の子供は、自然と挨拶ができる」と本には書いてありますが、そうとばかりはいえないような気がします。『気づいた時が行う時』。私達も校外での挨拶の励行に努めていきたいと思えます。

【心配なこと】

このところの殺伐としてニュースに、心が痛みます。「殺されるかも」と言っていた子供が、本当に命を落とすなんて考えられたでしょうか。LINE上には、「死ね」「殺す」といった言葉が氾濫しているとか。校内の日常会話にも聞かれ、その度に注意を促してはいますが、なかなかなくなりません。

また、スマートフォンやパソコンだけでなく、ゲーム機でもインターネットに接続できる今、残虐な映像を無防備に目にする子供がいないか心配です。ご家庭で、お子さんの言動に気をつけていただけると有り難いです。

全ての子供たちが安心して過ごせることを願っています。